



大切なのは終わってからの取り組み

暑い日が連日続くようになりました。その中でも子どもたちは、昼休みに外で遊んだり、部活動に取り組んだり、授業にも精一杯取り組んでいます。気温が高くなってきたことで、マスクをしながらも、同時に熱中症対策も必要になってきます。各ご家庭で、十分な水分補給の準備をよろしく願います。

さて、先日初めての定期テストである中間テストが終わりました。勉強の成果は出せたでしょうか。大切なことはテストが終わってから、今回のテストの結果を受けて、次に自分がどう取り組むかです。「PDCAサイクル」というものがあります。まずは計画を立て（プラン PLAN）、その計画に従って実行（ドゥ DO）する。自分が行った活動について評価（チェック CHECK）し、次の活動の計画に向けて改善（アクト ACT）する。テスト後の今は、このPDCAサイクルの改善（アクト ACT）の段階です。テスト計画やテストの結果から、次回の期末テストへ向けて取り組みの改善に生かしてください。（ ）

実践したからこそ分かること

～改善（ACT）して次回へ～

中間テストを終えた今、自分の学習について何を改善したらよいかに気づけたこともあるのではないのでしょうか。それはいったい何なのか、考えられる改善点を挙げてみましょう。

- ①やはり、授業は大切に、もっと集中して臨む。
- ②計画的にプランを立てて、早めにテスト勉強に取り組む。
- ③予習または復習を習慣づけて、毎日の積み重ねを大事にする。
- ④課題や提出物などは期限ギリギリに慌ててやるのではなく、丁寧に取り組む。
- ⑤苦手な勉強であっても、あきらめずに少しでも努力しようとする気持ちをもつ。
- ⑥その他

改善点は人それぞれ異なります。小学校とは違う「中学校のテスト」を実践した直後の、新鮮な感想をもとに、真剣に自己を振り返ってみましょう。

